

みんなで作る避難所プロジェクト事業 991万円

避難所生活がイメージできずに避難行動を躊躇する事例があることから、子育て世代の参画を得て、「みんな」が過ごしやすい避難所づくりをめざし、避難所グッズや避難所体験ゲームの開発、防災レシピ教室などを実施します。

避難につながる「みんな」が過ごしやすい避難所へ！

初めての避難所生活で不安だなあ…

子どもの居場所がないなあ…

誰が運営するの？

偏った食事だなあ…

- 生活環境の向上
- 避難所体験ゲーム
- 防災レシピ など

ゲーム体験してるから安心！

子どもも安心して避難できる！

みんなで運営しよう！

避難所でもおいしい食事が食べられる！

期待される効果

子どもを含む子育て世代の避難所に対する理解が深まるとともに、「みんな」が避難所運営に参画することで、生活環境が向上した避難所の設置が進むとともに、適切な避難促進が図られます。

取組内容

●企業等とコラボした避難用資機材の普及

企業等とコラボして、避難所の生活環境が向上を図る防災資機材の普及を図ります。

●子ども向け避難所体験ゲームの開発

避難所への理解を促進するため、小学生から中学生等を対象とした避難所体験ゲームをみえ防災・減災センターと開発し、子どもや子育て世代が避難所の運営への主体的な参加を促進します。

●子ども向けDVD教材の作成

子ども目線で、三重県の災害リスクや先進事例を取り入れたDVDを作成し、ホームページでも公開します。

●防災レシピ教室・レシピコンテストの開催

女性が主体となって参加できる「料理（炊き出し）」をキーとして、三重県の豊富な食材などを活用した防災レシピコンテストを開催するとともに、避難所運営訓練に合わせ講演会や防災レシピ教室を開催します。



～命を守る、命をつなぐ～ 三重県ペット防災事業

522万円

ペットの飼い主は、災害時の事前準備が非常に重要であることから、災害時に、飼い主とペットの命を守り、命をつなぐことができるよう、親しみやすいアニメーション動画を作成するとともに、市町や動物病院等と協力・連携して、効果的に周知を図ります。

これらが実践できるよう、ペット参加型避難訓練等のイベントを実施します。

飼い主とペットの命を守る、つなぐためのアニメーション動画

●飼い主とペットの命を守る、つなぐためのアニメーション動画の作成

- ・日頃からの災害への備え
- ・ペットのための防災用品の準備
- ・避難先での注意点

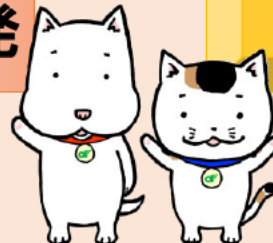


●ペット参加型避難訓練等のイベントの実施

効果的な啓発

飼い主の
安全・安心

飼い主と
ペットの命を
守る、つなぐ



期待される効果

- ペットの飼い主が、ペットがいても安全・安心して避難することができます。
- 飼い主とペットの命が守られます。

取組内容

災害時に、飼い主とペットの命を守り、命をつなぐことができるよう、アニメーション動画を作成するとともに、市町や動物病院と協力・連携し、受付窓口等で放映してもらうなど、以下の内容について効果的に啓発します。

- 日頃からの災害への備え。
- ペットのための防災用品リストの作成(防災準備カレンダー等の作成)。
- 避難先での注意点。

また、これらが実践できるよう、ペット参加型避難訓練等のイベントを実施します。

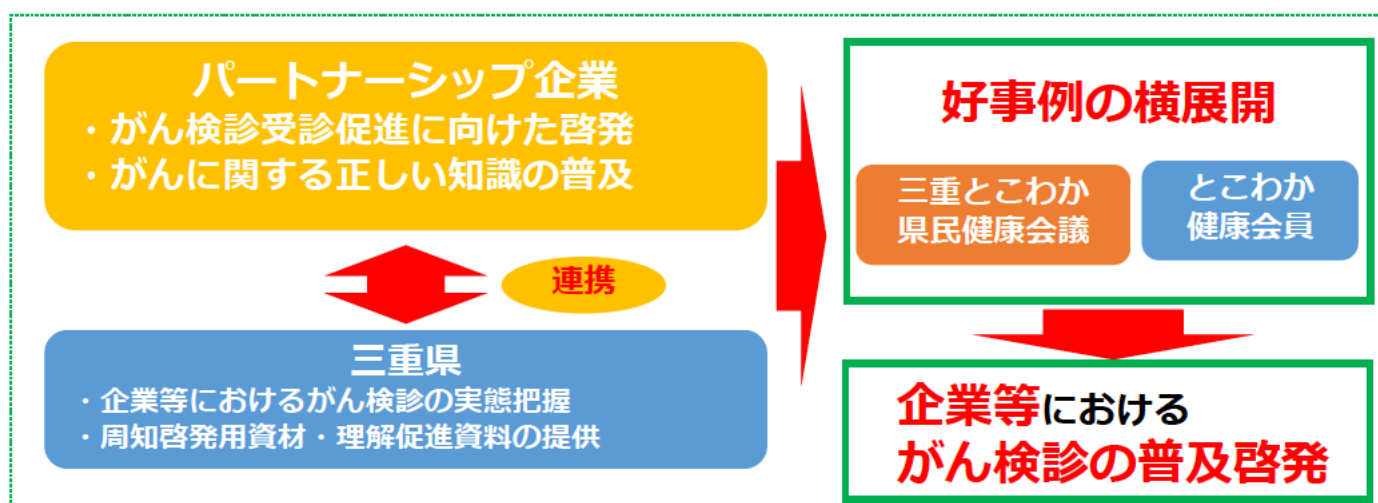
あわせて、避難所を設置する市町が、発災時にペットを連れた被災者を円滑に受け入れる準備についての周知に取り組みます。

がん検診受診率向上に向けた民間企業等とのパートナーシップ事業

490万円

県内企業等におけるがん検診の実態を把握するとともに、従業員のがん検診受診率向上をめざす民間企業等に対して、**がん検診やがんに関する正しい知識の普及啓発に役立つ資料の提供など、様々な取組で企業等を支援します。**

さらに、三重とこわか県民健康会議等で**これらの取組を横展開することにより、企業等におけるがん検診の普及啓発を図ります。**



期待される効果

企業等と連携して、がん検診受診促進に向けた啓発や、がんに関する正しい知識の普及を行うことにより、企業等におけるがん検診に関する理解が深まります。

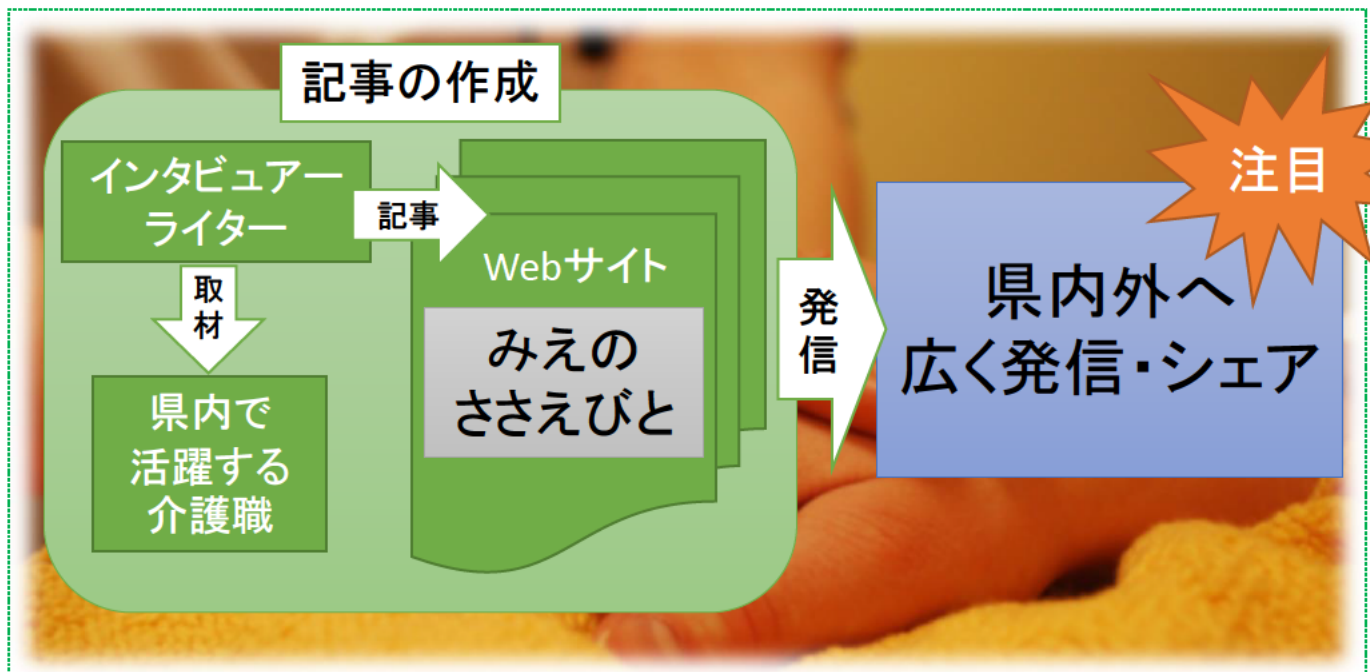
取組内容

- (1) 企業等におけるがん検診の実態把握
県内の企業等で実施される検診における取組状況の調査を行います。
- (2) パートナーシップ企業の募集
がん検診の周知啓発等に協力いただける企業等の募集を行います。
- (3) 企業等への取組支援
がん検診に関する資料等を提供し、企業等における普及啓発を支援します。
- (4) 企業内における周知等
企業等において、がん検診やがんに関する正しい知識の普及啓発を行います。
- (5) 取組事例の紹介
三重とこわか県民健康会議等で取組事例の横展開を図り、企業等におけるがん検診の普及啓発を図ります。

みえのささえびと事業

429万円

介護の仕事の魅力を広く発信するため、介護のプロとして県内で活躍する魅力的な介護職の方に取材・インタビューを行い、「みえのささえびと」としてウェブサイト上に記事を掲載します。



期待される効果

県内で活躍する介護職の魅力をリアルに表現した記事を発信し、介護の仕事の奥深さを伝えることで、若者の介護職に対する見方を変化させます。

取組内容

●介護のプロとして県内で活躍する魅力的な介護職の方に取材・インタビューを行い、「みえのささえびと」としてウェブサイト上に記事を掲載するとともに、県内外へ広く発信・シェアします。

●記事は、男女ともに年代別などで10人程度のささえびとを紹介するとともに、記事化のためのインタビューライターが魅力を最大限に引き出し、読み物としてのクオリティを高めることで、話題性のあるものに仕上げます。

プロフェッショナルと行くみえ旅！ 育児男子の子育て日記プロジェクト事業

863万円

「忙しくて普段は育児に関わっていない」父親の育児参画のきっかけとして、**各界のプロフェッショナルの協力のもと、「子どもとこんなことがしたい！」という父親の夢が詰まった「父子体験バスツアー」**を開催します。我が子と一緒に「夢の体験」を過ごすことを通じて、子どもとの向き合い方を見つめなおし、自身の**育児参画スイッチを入れる**ことにつなげます。

プロフェッショナルの達人が
父子の夢の体験を応援！

「父子体験」の楽しさや魅力などを
親子で「絵日記」を作成して情報発信！

父ちゃん、
頑張った
なあ～
すごかった
よかったです！



こんなことも
できるよう
になったん
やなあ～
いっぱい
話もできて
楽しかった！

「父子旅」経験者は育児に積極的！
自身の子ともと父子旅をした経験のある父親は、
未経験の父親と比べて、
「1週間の育児に費やす時間」が3割多くなる
※(株)リクルートライフスタイル調べ

「父子のお出かけ」から
育児男子増殖へ

育児男子スイッチオン！

期待される効果

これまで育児への関わりが薄かった父親が、「父子のお出かけ」をきっかけに子どもと積極的に関わるようになり、**育児男子の裾野を広げます。**

取組内容

- 「子どもと一緒にこんなことやってみたい！」という**父親の夢や憧れを募集**します。
- 夢や憧れが詰まった**「父子体験バスツアー」を実施**します。体験は**プロフェッショナル（スポーツ、文化・芸術活動、科学実験など）が指導**します。体験内容は、**父子で「絵日記」としてまとめ、「父子のお出かけ」の楽しさや魅力を発信**します。
- 三重県の**「父子でのお出かけ」や「父子体験」のおすすめ情報を募集**します。「おすすめの季節」「体験に適した子どもの年齢」などにカテゴリー化して情報発信し、**県内の父親に「父子のお出かけ」の実践を促**します。
- 取組を通じて「男性育児参画」への注目を高め、**育児男子プロジェクトに参画する企業や団体等の拡大**につなげます。

みんなで！

みん・聞くキャラバン事業

聞く+つながる=生み出す

899万円

「若者が活躍できる三重・暮らし続けたい三重」をテーマに当事者である若者を中心にリアルな声を集めると同時に、各地で魅力ある地域づくりを実践している方々につなげる場を、県内5地域+東京で開催します。また、その様子をSNSで発信するとともに、いただいたアイデアを最終報告会で共有し、新たな地域活動につなげていきます。

～キャラバンで集めた若者のリアルな声を地域活動に～



「あなた」が暮らし続けたい三重とは？



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



期待される効果

若者の「リアルなニーズ」を聞くとともに、数多くの「おもしろいアイデア」を集めることができます。また、既に「魅力ある地域づくりの活動」をしている方々につなげることで、「さらにおもしろい活動」に発展する可能性が生まれます。

取組内容

● 県内5地域+東京での「みん・聞くキャラバン」

県内5地域で「若者が活躍できる三重・暮らし続けたい三重」をテーマに、SDGsの17のゴールを切り口とし「アイデアを集める・意見を聞く会」を開催します。東京の三重テラスでも開催し、三重県内で最終報告会を行います。地域活動から世界のゴールを目指すムーブメントを三重から起こします。

● 広報

インパクトある告知・チラシで事業への期待感を高めます。また、開催期間中は、SNS等を活用して開催状況をシェアします。単発のイベントにはない事業の継続性やアイデアの積み上げをはかり、参加者同士が当事者意識を持って、「みん・聞くキャラバン」の行方に注目できるよう、継続的な広報を行います。

「子ども条例ってなあに？」PR動画制作事業

962万円

小学生の子どもが、「三重県子ども条例」が謳う子どもの権利とはどういうものなのか、それを守るためにどうしたらよいかについて考えるきっかけとなるようなPR動画を制作します。

制作した動画は、小学校の授業やホームルーム等で活用するほか、県庁への社会見学やイベント等、様々な機会を捉え広く活用していきます。



期待される効果

子どもが権利の主体としてあるために必要な認識を獲得できるだけでなく、今後の日常生活の中でも自他の権利について自ら気づき、考えるための契機とします。他者への理解を深めることで、他者を認め、思いやりをもって育つことができると期待されます。

取組内容

- 動画は、ドラマ仕立てとし、日常の中でふとした違和感やモヤモヤを抱きながら生活している主人公が家族や周りの大人、友達との関わりを通して、自らの権利について知り、考えながら問題を解決していく内容とします。
- 題材として、昨今の子どもを取り巻く課題を盛り込みます。（「いじめや虐待に該当するか子どもには判断しにくい事例（LINEの仲間外し、いじりと称した過度な暴力・暴言、親からの決めつけ、しつけと称した過度な干渉・体罰）」等）
- 動画の内容は、子どもを支えたり権利を守る取組実績を持つNPOや学識経験者等で作る「動画制作委員会」で様々な視点から検討していきます。子どもが集中して視聴できるよう、ドラマやアニメ制作のプロによる撮影を行います。

Let's Think 消費生活！ 事業

998万円

～Smart な消費者になろう～

令和4年4月から、成年年齢が「18歳」になります！！

自分の意思で契約できる一方、若者を狙った消費者被害の拡大が懸念されます。高校生や大学生の皆さんが主体となり、同年代の若者に動画やトークセッションによる消費者啓発を行うなど、消費生活について考えます。

【若者が主体の取組】

①啓発劇の動画配信



【若者が主体の取組】

②大学生等によるトークセッション

【学校との連携】

③高校への専門家派遣



【キャラクターの活用】

④大学での学食トレイによる啓発

期待される効果

様々な手法で若者に啓発することで、契約の基礎知識や悪質商法の手口を知ることができ、消費者被害を未然に防止することができます。また、高校生や大学生が、ピアサポーターとして同年代の若者に啓発することで、消費者トラブルを身近なものと感じてもらうことができ、若者への啓発効果が期待できます。

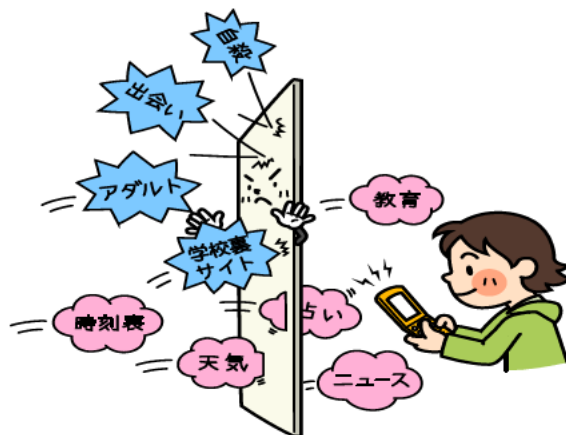
取組内容

- ①高校生が演じる啓発劇を動画にし、若者がよく利用するソーシャルメディア（YouTube）に配信することで、同年代の若者やその保護者への啓発を行います。
- ②ラジオ番組で、大学生と弁護士・消費生活相談員等が、消費者トラブルについてトークセッションを行うことで、同年代の若者やその保護者に啓発を行います。
- ③法律の専門家である弁護士・司法書士を高校に派遣し、契約の基礎知識や悪質商法の手口、その対処法についての講義やグループワークを行います。教員にも参加してもらうことで、教材開発や授業の進め方など、学校における消費者教育を支援します。
- ④県内の大学の学食トレイに、三重県消費生活センターのキャラクターを活用した啓発シールを貼り、食堂を利用する大学生に啓発を行います。

子どもたちのインターネット トラブル防止事業

1,000万円

スマートフォンによるインターネット利用が低年齢化しており、子どもたちがSNSに起因したトラブルやいじめに巻き込まれる危険が増えています。そこで、大学生等が中心となってSNSパトロールやネットの適正利用についての啓発・講座開催等に取り組みます。



期待される効果

- 専用のアプリを活用して、大学生等がSNSパトロールを行うことで、心配な書き込みやトラブル等を把握し、より早期に対応することができます。
- 子どもたちと年齢・感性の近い大学生等が中心となって事業に取り組むことで、子どもたちがネット利用の諸課題を身近なこととして受け入れることができるとともに、子どもたちの利用実態に即した対策を講じることができま
- 教員を志す大学生が講師を務めることにより、教員になることへのモチベーションにつながる

取組内容

- SNSの内容を、スクリーンショットで画像として保存し、その画像をすぐに安全なクラウド上へ投稿できるアプリを作成します。さらに、大学生がSNSパトロールを実施し、問題が疑われる案件を発見した場合、このアプリを利用し、県教育委員会へ連絡します。県教育委員会はその内容を確認し、必要に応じて、学校や専門家と連携して対応します。
- 大学生と高校生が意見交換する場を設け、ネット利用における自らや周囲の人の経験を発表し、危険性や適切な利用についてまとめる
- 県内の教育学部に通う大学生が、上記の意見交換会や県教育委員会が実施する研修会へ参加することで見識を高め、県内の小中学校等に出向き、ネットの適切な利用について講座を行います。
- 情報発信や研修会等を通じて、アプリの周知を行います。

みえの宝！子ども見守り活動応援プロジェクト

741万円

近年、通学路等において子どもが殺傷される事案等が全国的に発生しており、県民は著しい不安を感じています。

こうした子どもの被害は、登下校時に集中する傾向にあり、同時間帯における子どもの安全を確保するため、青色回転灯装備車両で子どもの見守り活動等に従事する防犯ボランティア団体に対し、ドライブレコーダー等を貸与します。



青色回転灯装備車両



ドライブレコーダー



- より顕示効果の高いパトロールの実現
- 連れ去り事案等発生時の情報収集
- 活動員の安全運転意識の向上
- 有事における安心感の醸成

期待される効果

防犯ボランティア団体が保有する青色回転灯装備車両にドライブレコーダー及びマグネットを貸与することで、より顕示効果の高いパトロールと連れ去り事案等発生時の情報収集に資するほか、同活動に従事するボランティアの安全運転意識と有事の際の記録映像の確認による安心感を醸成することができます。

取組内容

県内において、青色回転灯装備車両で子どもの見守り活動等に従事する防犯ボランティア団体（自治体・ドライブレコーダー装着車両は除く）に対し、前後2カメラのドライブレコーダーや「ドライブレコーダー録画中」と書かれたマグネットシート等を貸与します。

これからの移動手段チャレンジ事業

574万円

新たな高齢者向けモビリティ・マネジメント(※1)の取組として、次世代モビリティを活用した移動手段に関するセミナーの開催や試乗会など新たな視点での高齢者向けモビリティ・マネジメント事業を実施します。



期待される効果

新たな視点によるモビリティ・マネジメント事業を実施することにより、公共交通に対する必要性の理解が深まるとともに利用促進を図ります。

取組内容

●高齢者をはじめとする県民の皆さんが、公共交通について慣れ親しんでいただくとともに、さらなる利用促進を図るため、新たな高齢者向けモビリティ・マネジメントの取組として、グリーンスローモビリティ(※2)やMaaS(※3)などの次世代モビリティを活用したセミナーや試乗会などを開催し、アクティブシニアを中心とした高齢者に免許返納後の公共交通を活用した円滑な移動手段について、楽しみながら理解を深めていただくよう取組を実施します。また、事業を実施する中で、参加者等に対するアンケート調査を行い、今後の取組の参考とします。

※1 **モビリティ・マネジメント**：一人一人が日々の生活における移動手段を見つめ直し、用件などに応じて、自家用車と公共交通や自転車、徒歩等を適切に使い分ける考え方。

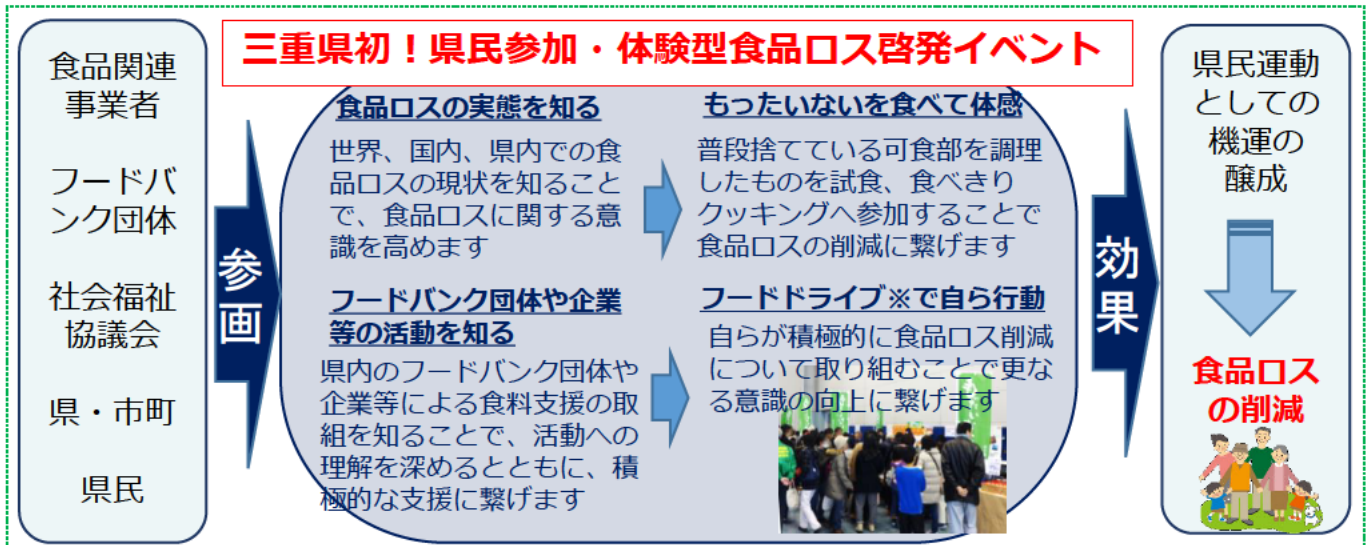
※2 **グリーンスローモビリティ**：電動で時速20km未満で公道を走ることができる4人乗り以上のモビリティ。

※3 **MaaS**：出発地から目的地まで、利用者にとっての最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他のサービスを含め、一括して提供するサービス。

県民参加・体験型食品ロス ゼロ啓発プロジェクト事業

736万円

食品ロス削減への関心を高めるため、食品関連事業者、フードバンク団体、社会福祉協議会、行政、県民など、さまざまな主体が参画する食品ロスをテーマにした県民参加・体験型イベント（食品ロスの削減、未利用食品の活用など）を、三重県として初めて開催し、県民運動としての機運を醸成することで食品ロスの削減に繋がります。



※家庭で余っている食品を持ち寄り、寄付する活動。

期待される効果

幅広い世代の集客を図り、参加者の食品ロスに関する意識を高めます。
また、さまざまな主体の連携を強化することで、さらなる食品ロス削減の取組の向上に繋がるとともに、県民運動としての機運の醸成を図ります。

取組内容

- 食品ロス削減月間である10月に、参加者5,000人規模の食品ロス削減をテーマにしたイベントを新たに開催します。
- イベントでは、食品関連事業者、フードバンク団体、社会福祉協議会、県、市町、県民などさまざまな主体が参加・体験型のブースを出展します。
- 具体的には、①食品ロスの実態を知るブース、②フードバンク団体や企業等の活動を知るブース、③食べきりクッキングのブース、④フードドライブのブースなど様々な角度から食品ロスについて考え・体験できるブースを設けます。
- 幅広い世代の集客を図るため、楽しく学べるクイズやゲームなどを用い、子どもから大人まで楽しめるイベントを企画します。

テーマ：13 LGBTをはじめ性の多様性について、県民の皆さんに広く知ってもらうための方策

性の多様性を知ろう！ みんなで虹色キャンペーン事業

979万円

LGBTをはじめ性の多様性を尊重する姿勢を表現するシンボルカラー虹色で、建物などをライトアップやペイントすることで、県民の皆さんに視覚的に「性の多様性」を知ってもらうとともに、啓発イベントを行うキャンペーンを実施します。

「性の多様性」を知ろう！みんなで虹色キャンペーン

レインボーカラー虹色は、性の多様性を尊重する姿勢を表すシンボルカラー



・賛同者一斉の虹色掲示

県内複数か所で実施予定

・施設の虹色ライトアップ
・階段・歩道等の虹色ペイント

・啓発イベントの開催
〈例〉映画上映、トークショー

カナダなど先進地で見られるレインボーの歩道を実現



(※) 歩道ペイントは、公道ではなく、県庁の敷地内や、許可を得た施設の敷地内において、期間中の実施を想定

期待される効果

歩道や階段、施設などがレインボーカラー(虹色)になり、容易に「目につくこと」で、LGBTや性の多様なあり方について、これまで関心のない、ほとんど知らない県民の皆さんが知るきっかけを作ることが出来ます。あわせて、性の多様性について知るイベントを実施することで、県民の皆さんの理解を広げます。

取組内容

- 県民の皆さんに視覚的に「性の多様性」を知ってもらう啓発キャンペーンを実施します。
- キャンペーン期間を設け、LGBTをはじめ性の多様性のシンボルカラーであるレインボーカラー(虹色 6色)で、県内施設のライトアップをしたり、階段や壁、駐車場の歩道の一部などをペイントします。普段と違う色になっていることで、関心を持ってもらい、県民の皆さんに「性の多様性」について、広く知ってもらう機会とします。レインボーカラー横断歩道の取組は、カナダなど世界的に広がってきています。
- キャンペーン期間中、賛同者には、レインボーカラーの掲示協力をお願いするなど、県内での広がりを図ります。期間中には、「性の多様性」に関して、例えば、映画上映やトークショーなどの啓発イベントも実施します。

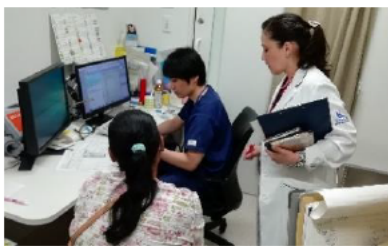
映画で知ろう！

980万円

「みえで活躍する外国人住民」事業

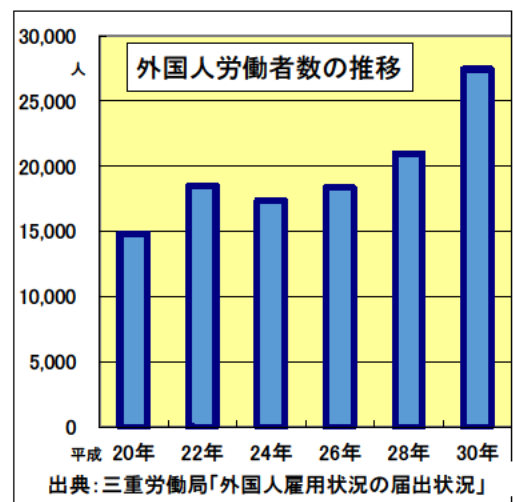
県内の様々な分野で活躍している外国人住民を紹介する**ドキュメンタリー映画**を制作し、多文化共生に関するシンポジウムで発表するとともに、市町や教育機関等で上映して、**多文化共生への理解促進**を図ります。

外国人住民が、県内の様々な分野で活躍しています。



例えば…

- 〇〇病院では、医療通訳をしています
- では、お弁当を作っています
- △△工場では、金型を設計しています



期待される効果

子どもたちにも分かりやすい映像を通して、県内で活躍する外国人住民の存在を知ることによって、「**多文化共生**」を考えるきっかけとなります。

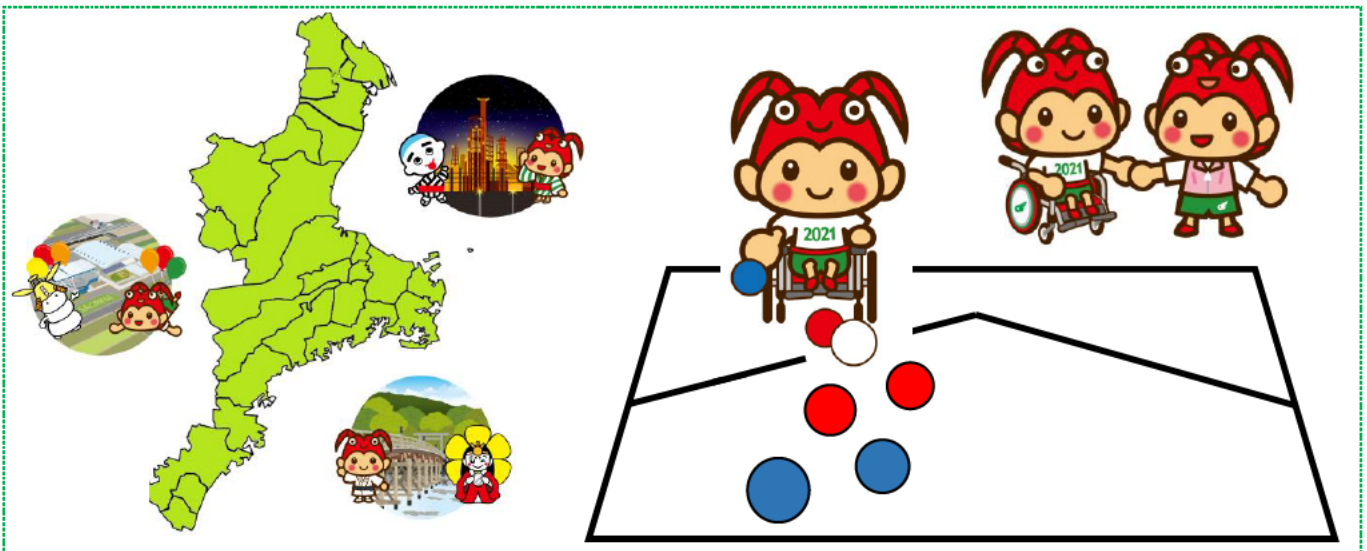
取組内容

- 「多文化共生映像づくり」ワークショップ
日本人と外国につながる学生・社会人が共に参加するワークショップにおいて意見を交わし、企画案を作成します。
- 映画制作
企画案に基づき、ワークショップ参加者が中心となってドキュメンタリー映画を制作します。
- シンポジウムと上映会
制作に関わった参加者も出演するシンポジウムを開催し、県民対象の上映会を行います。その後は、市町や県内小中高等学校等で上映会を開催したり、SNS（YouTubeなど）を活用し作品を発信します。

～知って、学んで、体験しよう！～ 三重とこわかボッチャムーブメント展開事業

499万円

障がいや障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、三重とこわか大会への関心を高めるため、小中学生、特別支援学校の児童生徒及び障害福祉サービス等指定事業所の利用者を対象としたボッチャの交流大会と普及啓発のための「とこわか出前講座（仮称）」を実施します。



期待される効果

子どもたちが、障がいや障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、三重とこわか大会への関心を高めることで、三重とこわか大会のレガシーとして、ボッチャのムーブメントを次世代まで引き継ぐとともに、障がい者スポーツの振興に寄与するものと考えます。

取組内容

●三重とこわか大会の競技会場（四日市市総合体育館、津市産業・スポーツセンター（サオリーナ）、三重県営サンアリーナ（サブアリーナ））において、小中学生、特別支援学校の児童生徒及び障害福祉サービス等指定事業所の利用者を対象としたボッチャの交流大会を実施します。

●また、普及啓発を目的として、希望する学校や事業所に対して、三重とこわか大会やボッチャ競技のルールを知っていただく講座や障がいや障がいのある方への配慮について学んでいただく当事者によるミニ講座（「とこわか出前講座（仮称）」）を実施します。

神話の道～伊勢神宮から熊野古道～ 事業

881万円

伊勢神宮や熊野古道伊勢路の沿線には、さまざまな神話が残されています。これらの神話は、人々の暮らしの中に生き、熊野古道の魅力を深めています。が、少しずつ忘れられかけているものもあります。

次世代に継承していくべき文化の一つとして、神話をテーマにした熊野古道伊勢路に関する研究成果を取りまとめるとともに、熊野古道のPRや熊野古道の価値を次世代へ継承するためのツールとして活用します。



期待される効果

地域の神話を紹介することで、熊野古道の価値や魅力を高めるとともに、熊野古道をより深く理解することで新たなファン層を開拓し、国内誘客の促進、インバウンドの増加につなげます。また、地域の子ども達が熊野古道に、より誇りと愛着を持つきっかけづくりとします。

取組内容

●MAKE UP THE “神話”

「神話の道」をテーマに熊野古道伊勢路の神話について、これまで蓄積された研究成果を取りまとめ、冊子として発行します。

●リレー講座「伊勢から熊野へ」

東紀州と都市圏において、熊野古道伊勢路の神話をテーマに研究者等による連続講座を開催します。

だ

●出そら！神話コンテスト

熊野古道伊勢路の神話を題材にしたイラスト、写真、動画や漫画などのコンテストを開催し、優秀作品を国内外に向けた広報ツールや次世代継承にかかるツールとして活用します。

#SNSを活用したみえの魅力満載 食材発信事業

999万円

InstagramやLINE等を活用して、**三重県産食材を使用した料理コンテストを開催**し、県産食材の魅力、ストーリー、利活用方法等を県内外に情報発信します。また、YouTube等動画配信サービスを活用して、**調理方法や食材情報を動画配信**し、県産食材の認知度向上や新たなメニュー化など利活用の可能性を広げることで、世界で選ばれる三重県産農林水産品をめざします。



期待される効果

県民が情報発信サポーターとなり、自発的に県産食材情報を発信できるプラットフォームの形成に加え、これまで埋もれていた県産食材に対する情報や調理方法が注目され、拡散されることから、県産食材の認知度の向上や、飲食店の新たなメニュー化につながるなど、県産食材の活用促進が期待されます。

取組内容

● 県産食材を使用した料理コンテスト

県産食材を使用した料理写真等のInstagram、LINE等への投稿や料理コンテストを通じて県産食材の新たな活用方法や産地ならではの情報などを発信するとともに、優秀作品については、レストラン等でメニュー化し、県産食材の魅力を訴求します。

● YouTube等を活用した情報発信

コンテストで選ばれた優秀作品については、料理メニューや調理過程などメニュー開発の経緯も含めて動画配信し、世界に選ばれるみえの農林水産品をめざします。

三重のアスリート～強さの秘密～ トークリレー事業

949万円

スポーツを通じて三重県の魅力を発信するため、東京2020オリンピック・パラリンピック終了後、東京・三重テラスにおいて、三重県ゆかりの有名アスリートらが、強いアスリートを生み出した三重県独自の食や文化など「三重の魅力」を語るトークイベントをリレー形式で繰り広げ、全国へ情報発信します。



スポーツと
食文化



スポーツと
地域の特徴



スポーツと
三重の魅力



積極的にアピール

テレビ・ラジオ・雑誌・Web など

期待される効果

スポーツをテーマにしてこれまで三重県に関心がなかった方にもアプローチし、三重県ゆかりの有名アスリートが三重の魅力を発信します。また、翌年度開催する三重とこわか国体・三重とこわか大会の機運の盛り上げにつなげます。

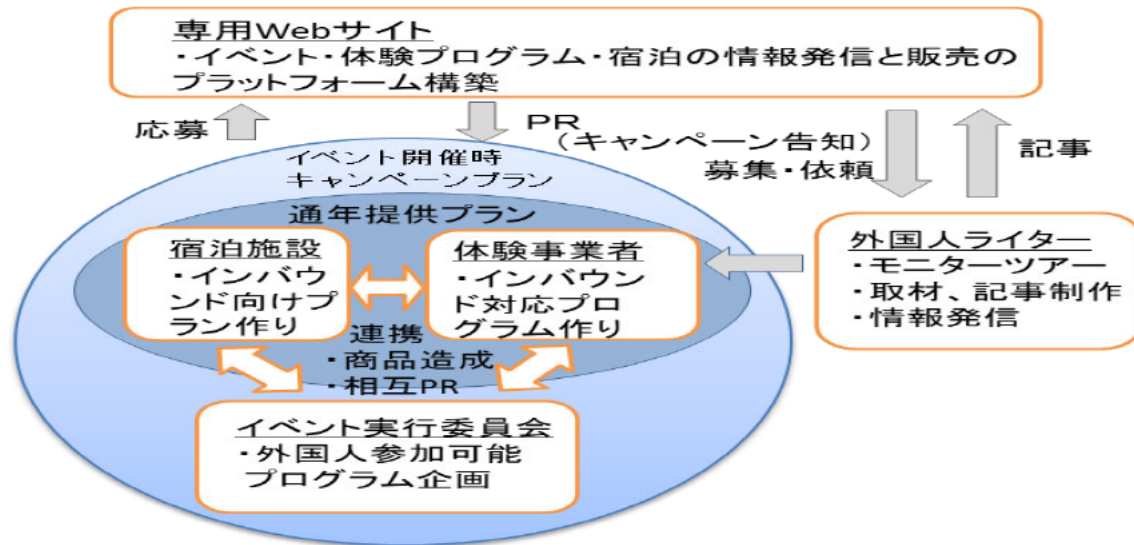
取組内容

- 東京2020大会終了後、三重テラスにおいて、東京2020大会出場選手や三重県ゆかりの有名アスリートらが、「三重の選手の強さの秘密」と「三重の魅力」をトークするイベントをリレー形式で数日間にわたり開催します。
- マラソン・レスリング・バトミントン・バレーボールなど、三重県が輩出したオリンピック出場者が、強いアスリートを生み出した三重県独自の食や文化・自然などにも注目しながら、普段聞けないストーリーを語り継ぎます。
- 実施にあたっては、テレビ・ラジオ、雑誌、Webなどメディアへも積極的にアピールし、全国へ広く発信します。

Mie One More Stay 推進事業

1,000万円

県内各地で開催される祭りや花火大会、スポーツ大会など大小さまざまなイベントと、地域の資源を活かした体験プログラムや宿泊プランを組み合わせることで、**外国人観光客が、より多く、より長く三重県を訪れてくれるように、地域の関係者が連携・協力して取り組みます。**



期待される効果

地域のイベントに外国人が参加できる企画を用意することでイベントを目的に三重県を訪れる**旅行者の増加**が図られるとともに、イベント前後の宿泊や体験プログラムをセットにして提案することで**滞在の長期化**が期待できます。

また外国人にとっては、地域のイベントに参加し地域の住民との触れ合いが体験できる貴重な機会となり、来県者の**ファン化、リピーター化、口コミによる情報拡散**が期待されます。一方、地域にとっては、外部からの**交流人口が増加し地域が活性化**するとともに、祭りの担い手不足などの課題解決につながることも期待されます。

取組内容

- 地域が中心となって、宿泊と体験プログラムを組み合わせた魅力的なプランを取りまとめ、地域の祭りや花火大会、スポーツ大会などのイベント開催時には、外国人も参加できる企画を用意するとともに**イベント前後の宿泊につなげるキャンペーン**を実施します。
- 商品化されたプランの**広報及び販売を行うためのプラットフォームとして専用Webサイトを構築**します。
- 地域が取りまとめたプランを公募し、**外国人ライターによるモニターツアー、取材記事制作、SNSでの発信**などを行うとともに、取材記事等を活用した広告や当該イベントの広報Webページを通じたPRを行い、専用Webサイトへの誘導を図ります。

住民参加型維持管理推進事業

880万円

県が管理する道路、河川、海岸、公園において、地域住民の皆さんが参加・協力して実施いただいている公共土木施設の維持管理の取組を更に広げていくために、**事業に携わっていただいている団体にこれまでの活動に対する感謝状を贈呈し、活動の継続をお願いします。**また、様々な団体に新たに参加いただけるよう、**活動実績や住民参加の維持管理に関する制度等を幅広くPRするとともに、各団体の取組状況等を共有することで団体間の有機的な連携を育むことにより、より多くの県民の皆さんに参加いただける事業をめざします。**



道路・河川・海岸・公園 美化ボランティア

- ・草刈り、清掃、花植え等
- ・活動物品支給
- ・保険（県一括加入）

ふれあいの道事業

- ・草刈り、清掃、花植え等（年3回以上）
- ・活動物品支給
- ・保険（県一括加入）



住民参加の維持管理



草刈りの自治会委託

- ・草刈り（年1～2回）
- ・1,000㎡以上（特例 道路100㎡、河川・公園500㎡以上）
- ・委託料の支払い

フラワーオアシス推進 事業

- ・河川の高水敷での花木の植栽、種子蒔き
- ・苗、種子、肥料の提供



期待される効果

地域住民の皆さんが、日常生活に身近な道路、河川、海岸、公園として、その維持管理に積極的にご参加いただくことにより、**多くの人々が適正に管理された公共土木施設を安全・安心にご利用いただける環境を享受し、「わが町の公共土木施設」として大切に思い、多くの人々の参加・協力により、より一層、住民参加による維持管理の取組が進むような県民風土が醸成されることを期待し、当事業の取組を進めていきます。**

取組内容

- **住民参加の維持管理に一定期間参画頂いた団体に感謝状を授与する。**
- **これまでの活動事例や住民参加に関する制度等を取りまとめたPR用資料、チラシ、ポスター、リーフレット等の配布物を作成し、説明会等を通じて継続的な参画をお願いします。**更なる参画団体の確保のため、**市町を中心に、学校関係者、企業等各種団体へのPR活動を実施する。**
- **維持管理を担う団体や位置等をHP上に掲載するマップ等を作成し、各団体が維持管理の情報やノウハウを共有し、有機的なネットワークの形成を促進する。**また、団体の作業意欲向上や他の道路管理者へのアピールのため、**現地に維持管理実施団体名等を明示した看板を設置する。**
- 当事業の円滑な推進や新たな住民参加の維持管理等を検討するため、必要となる業務委託を行う。